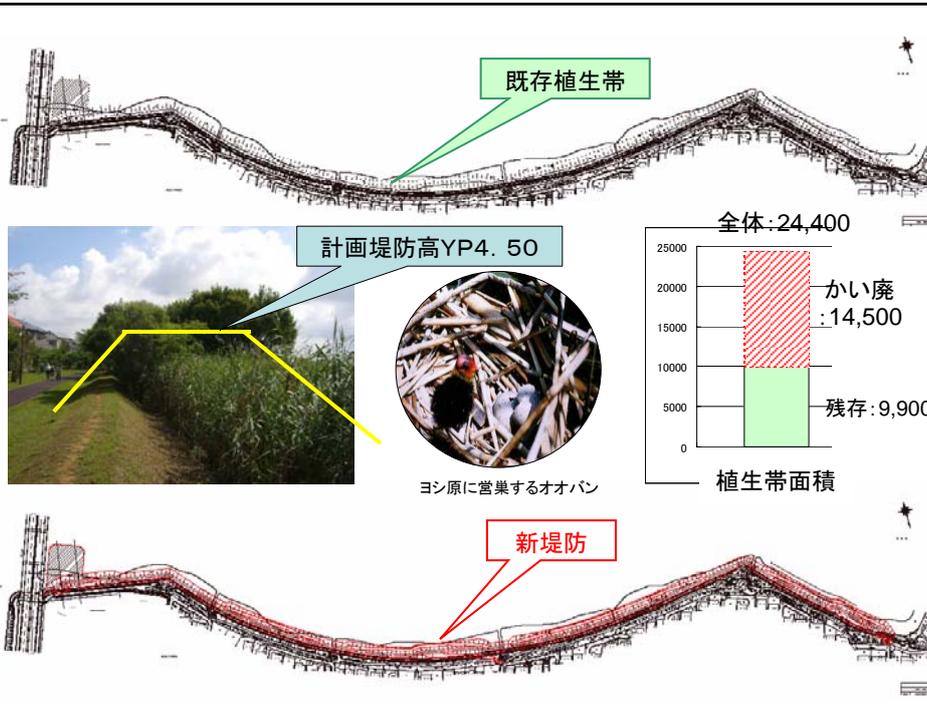


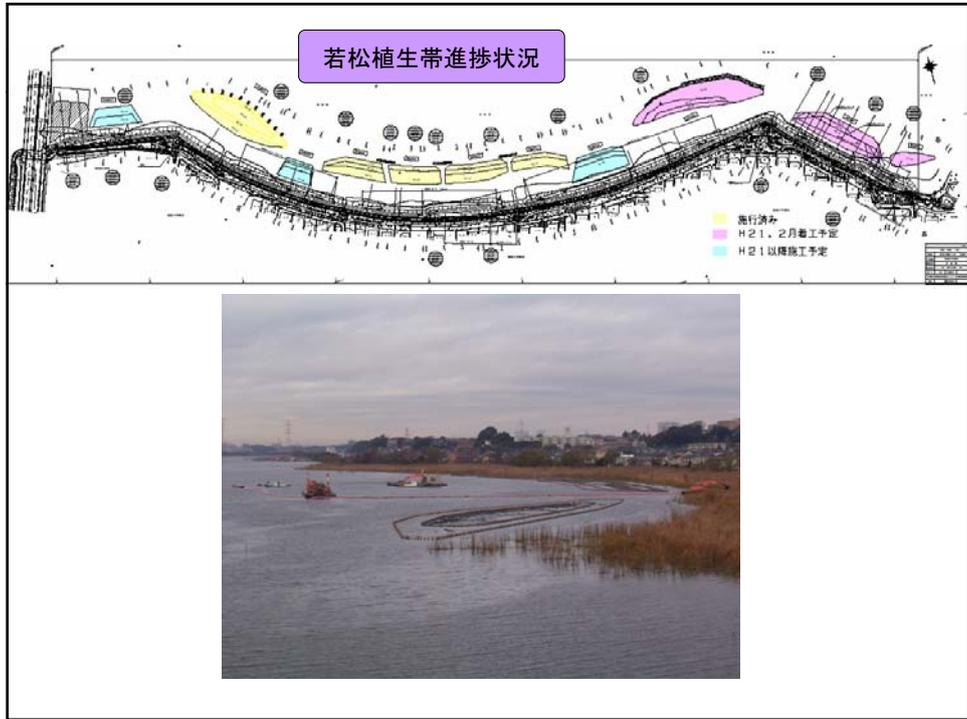
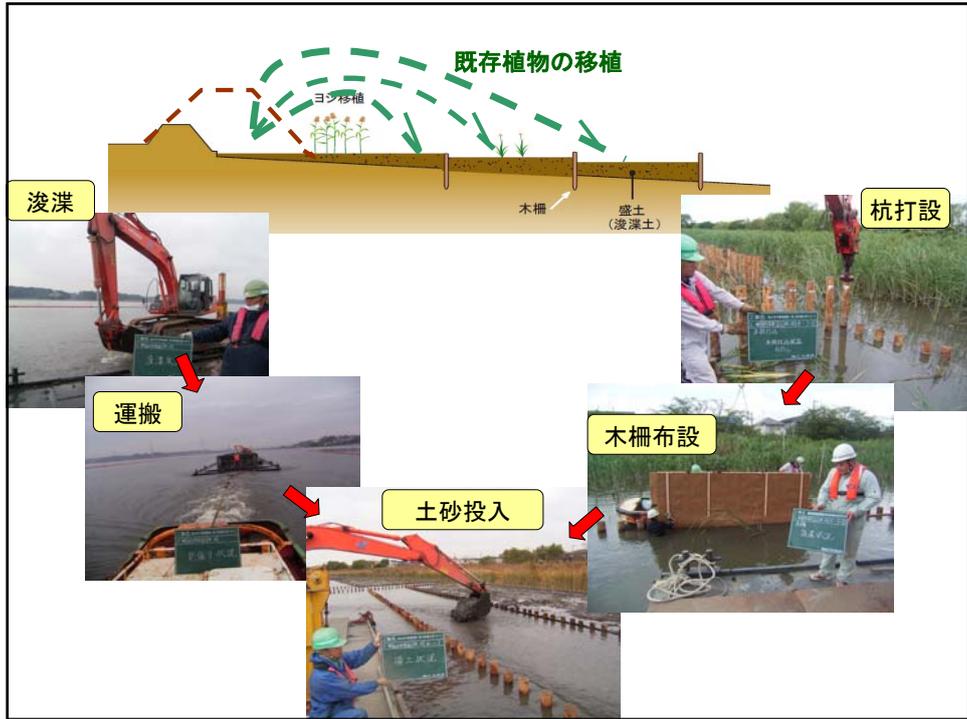
資料 4

平成 2 0 年度の整備状況

平成20年度手賀沼整備状況

- 若松地区植生帯整備
- 高野山新田地区モニタリング調査
- 薄層浚渫休止に伴う手賀沼底土の監視





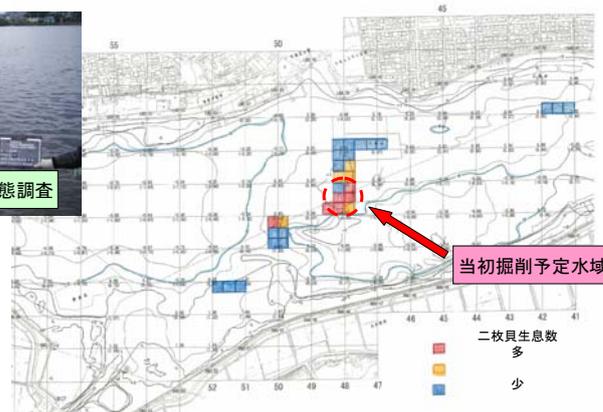
手賀沼植生帯の整備に関する技術検討会



二枚貝に託卵するタナゴ類



引き網による二枚貝生態調査



当初掘削予定水域

二枚貝生息数
多
少

高野山新田植生帯モニタリング調査



平成20年度



薄層浚渫休止に伴う手賀沼底土の監視

平成20年度大津川整備状況

- 中之橋架換工事
- 堤体築堤工事
- 排水樋管工事



一級河川古新田川の 改修状況と環境調査

(一) 古新田川の位置 及び周辺の状況

手賀沼・印旛沼・根木名川 圏域流域懇談会 手賀沼部会での主な意見

第5回手賀沼部会での主な意見

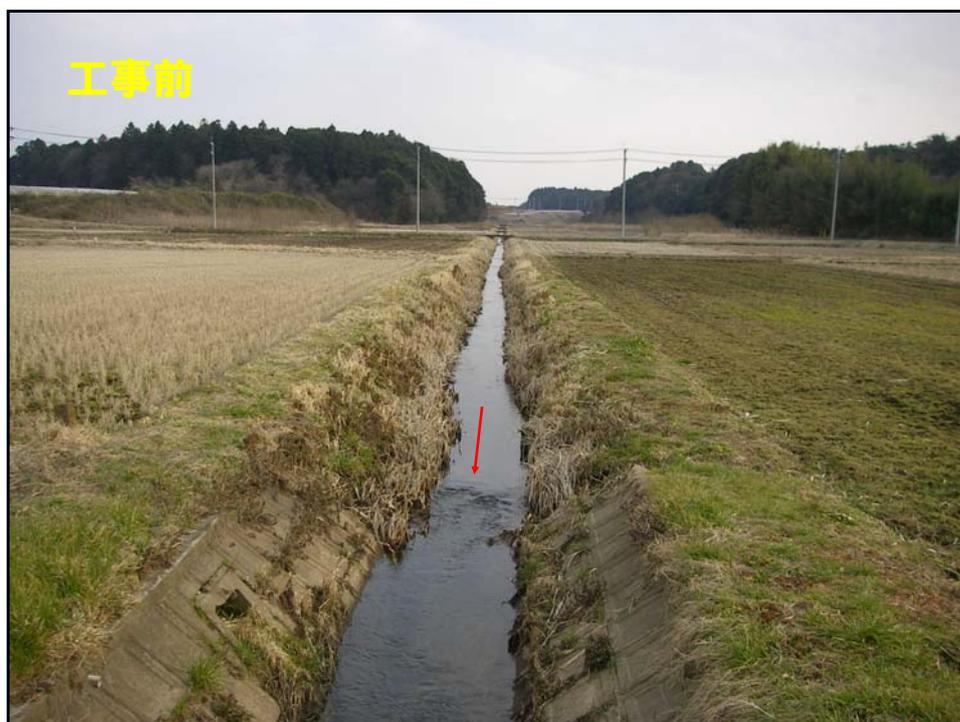
- ①農地の保全に努めた改修計画
- ②水生植物の復元
- ③河床に凸凹をつける等生物に対する環境に配慮
- ④別所川流域の絶滅危惧種の保護
- ⑤護岸の急傾斜化による生物への影響に配慮
- ⑥生態系調査の実施

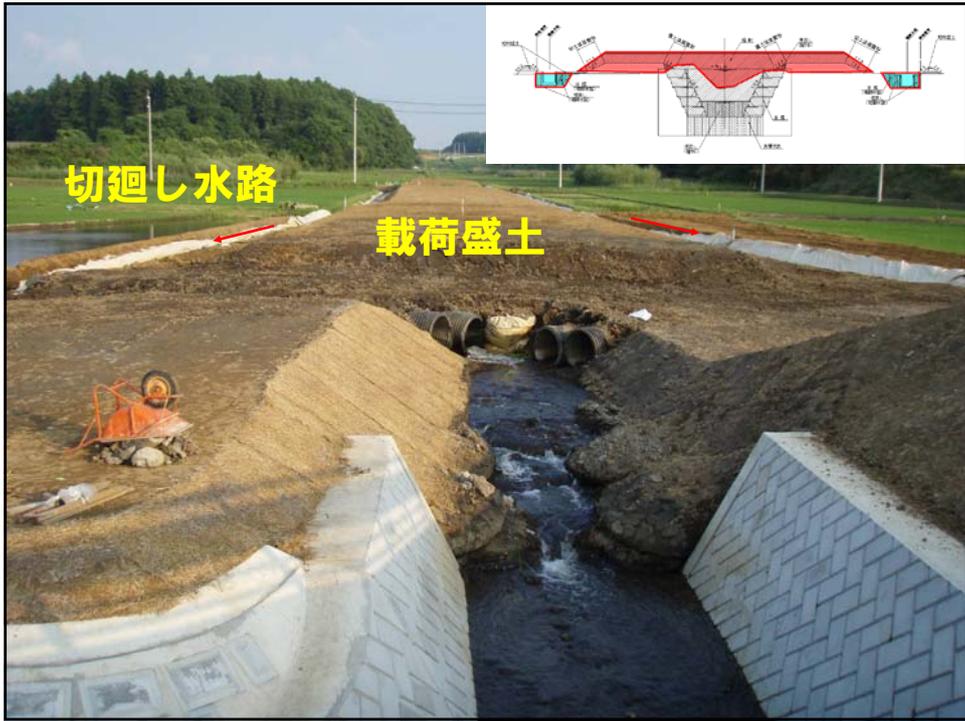
第6回手賀沼部会での主な意見

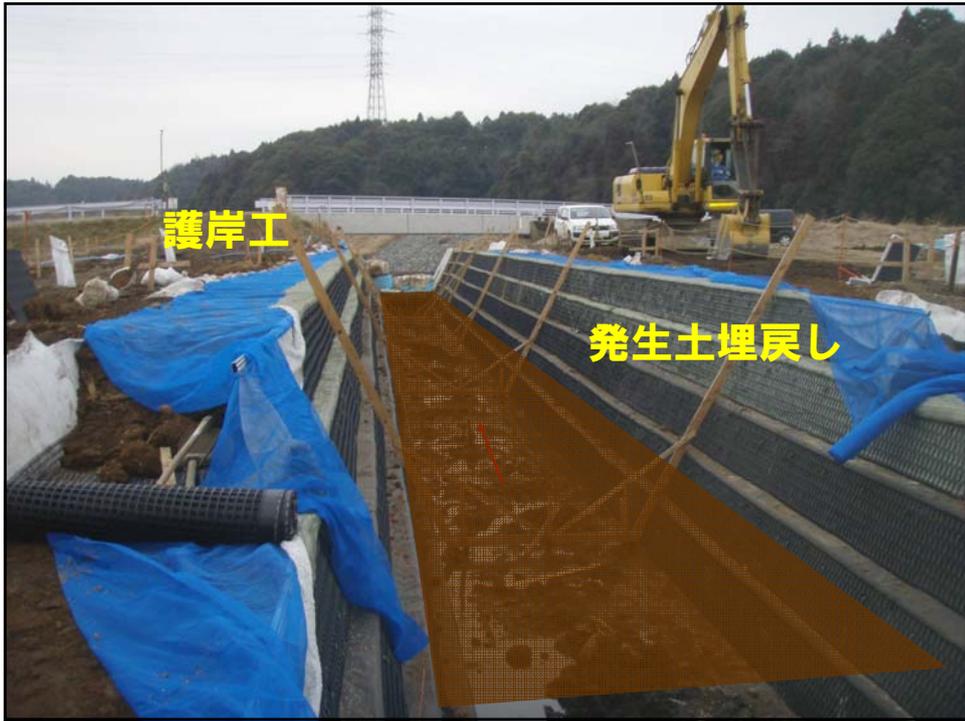
- ①田圃の暗渠排水を考慮した堤脚水路の形状
- ②水循環の健全化に配慮したNT整備
- ③河床に手を加え、滯筋の形成をフォローアップ
- ④洪水時に魚類の避難場所を確保

流域懇談会での意見を 踏まえた改修計画のポイント

古新田川の改修状況









◎平成20年1月～10月にかけて、古新田川及び谷底部を対象に動植物調査を実施。

- | | |
|--------|-----------|
| ① 植 物 | ④ 哺乳類 |
| ② 魚 類 | ⑤ 両生類・爬虫類 |
| ③ 底生動物 | ⑥ 昆虫類 |

◎平成7年～平成8年の調査結果と比較

【植物調査】

古新田川の水路内にはマコモ群落、その周辺には水田のほか、ヤナギ林、ヨシ群落、ガマ群落などが分布。

カワヂシャやオグルマなど294種の植物を確認。[前回調査(H8年度)では50種確認]

【注目される種】

種名	環境省	千葉県
カワヂシャ	準絶滅危惧種	—
オグルマ	—	要保護生物
コバギボウシ	—	一般保護生物
オニスゲ	—	一般保護生物

※全て河川区域内ではなく、周辺の水田や耕作放棄地で確認。



【魚類調査】

スナヤツメ、モツゴ、メダカ、タモロコ、ブルーギル、オオクチバス、トウヨシノボリの8種を確認。[前回調査(H8年度)では9種確認]

湧水を源とする細流に生息するスナヤツメが多く確認されたことが古新田川の特徴。

【注目される種】

種名	H8年	H20年	環境省	千葉県
スナヤツメ	○	○	絶滅危惧Ⅱ類	重要保護生物
モツゴ	○	○	—	要保護生物
メダカ	○	○	絶滅危惧Ⅱ類	重要保護生物



【底生動物調査】

エビ類、トンボ類、カワゲラ類
など61種の底生動物を確認。
[前回調査(H8年度)では35種
確認]

ヌカエビ



テナガエビ



スジエビ



キイロサナエ



ホンサナエ



スズキクサカワゲラ



【注目される種】

種名	H8年	H20年	環境省	千葉県	オオミズスマシ
ヌカエビ	—	○	—	要保護生物	
テナガエビ	○	○	—	一般保護生物	
スジエビ	—	○	—	一般保護生物	
キイロサナエ	○	○	—	重要保護生物	
ホンサナエ	—	○	—	重要保護生物	
スズキクサカワゲラ	—	○	—	最重要保護生物	
オオミズスマシ	○	○	—	要保護生物	

【哺乳類調査】

モグラ、ノウサギ、カヤネズミ、タヌキ、イタチ、アライグマ、ハクビシンの7種を確認。[前回調査(H8年度)では6種確認]

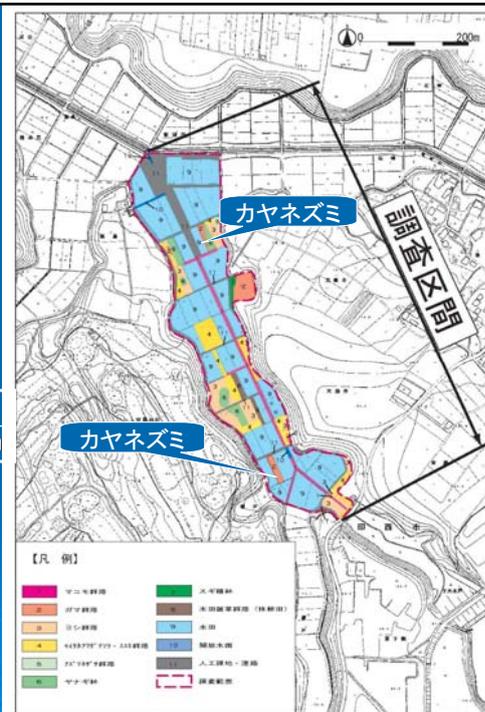
注目される種であるカヤネズミは
休耕田で巣を確認。

【注目される種】

種名	H8年	H20年	環境省	千葉県
カヤネズミ	—	○	—	一般保護生物



カヤネズミの巣



【両生類・爬虫類】

両生類では、ニホンアカガエル、トウキョウダルマガエル、アマガエル、シュレーゲルアオガエル、ウシガエルの5種を確認。[前回調査(H8年度)では4種確認]

爬虫類では、カナヘビ、マムシ、アオダイショウ、ヤマカガシの4種を確認。[前回調査(H8年度)では確認なし]



ニホンアカガエル



トウキョウダルマガエル



シュレーゲルアオガエル



カナヘビ



アオダイショウ



ヤマカガシ

【注目される種】

種名	H8年	H20年	環境省	千葉県
ニホンアカガエル	—	○	—	最重要保護生物
トウキョウダルマガエル	○	○	準絶滅危惧種	重要保護生物
シュレーゲルアオガエル	○	○	—	一般保護生物
カナヘビ	—	○	—	一般保護生物
アオダイショウ	—	○	—	一般保護生物
ヤマカガシ	—	○	—	一般保護生物

【昆虫類調査】

オニヤンマやゲンジボタルなど谷津環境を反映した昆虫類を302種確認。[前回調査(H8年度)ではトンボ類とゲンジボタルのみ調査]

ゲンジボタルは古新田川ではなく台地斜面下部を流れる用水路で確認。平成20年6月10日には約150個体確認した。

【注目される種】

種名	環境省	千葉県
ヒメカマキリモドキ	—	重要保護生物
ヒゲナガハナノミ	—	一般保護生物
ゲンジボタル	—	重要保護生物
ヤマトシリアゲ	—	一般保護生物
ギンイチモンジセセリ	準絶滅危惧種	一般保護生物
オナガアゲハ	—	要保護生物
コムラサキ	—	要保護生物



ヒメカマキリモドキ
写真:「原色昆虫大図鑑Ⅲ」(北隆館,1973)



ヒゲナガハナノミ
左♂・右♀
写真:「原色昆虫大図鑑Ⅲ」(北隆館,1974)



ゲンジボタル



ヤマトシリアゲ



ギンイチモンジセセリ



オナガアゲハ



コムラサキ
写真:「原色昆虫大図鑑Ⅲ」(北隆館,1974)

【まとめ】

① 今回調査（H20）の確認状況

- ・植物（294種）
- ・魚類（8種）
- ・底生動物（61種）
- ・哺乳類（7種）
- ・両生類（5種）
- ・爬虫類（4種）
- ・昆虫類（302種）

② 前回調査（H7年～H8年）との比較

オオクチバスやアライグマなどの外来種の侵入がみられたが、動植物相に大きな変化はみられなかった。



生態系調査勉強会の様子 (その2)

